

【6040 グリース 1.5】—モラブ・アロイ—

多量の水や過酷な環境下にある軸受けに最適

1. 増ちょう剤：水に強いCaコンプレックスグリース
2. 特徴：機械的安定性・酸化防止性・防錆性に優れる
3. 環境：バリウム・鉛・亜鉛フリーのEco-Solutions TM
4. 用途：熱間圧延や多量の水や極圧にさらされる軸受け
5. 荷姿：400g×20本、16.8kg缶



「高崎物語」 16

ガラスのショーケースの上で、私を待っていたかのようにあの“白いアノラック”は、裸電球の下で光っていた。

まるで、探し求めていた恋人に偶然出会えたような衝撃が、わたしの脳裏を稲妻のように駆け抜けていった。

値札を手にとってみると、数字はアルバイト料のほぼ一ヶ月分が記してあった。店の奥に腰掛けしている店主に向かって、大きな声で叫んだ。

「おじさん、このアノラック取っしておいてね。アルバイトのお銭入ったら、必ず買いに来るから」
「ああ、大丈夫だよ。何枚か仕入れてあるからとっておくよ」

奥から五十絡みの丸顔の店主が出てきて、人のよさそうな顔をほころばせて応えてくれた。

私は、この店に入る前に二、三軒先の本屋から買った「平生の心がけ」小泉信三著を前かごに載せ、自転車のスタンドをはずした。

『白いアノラック』

高崎の繁華街は、往来する人たちでとても賑わっていた。柳川町の飲み屋街では、時折ネグリジェ姿のホステスが店の前で客を送ったり呼び込んだりしていた。

このころ、私は自動車の免許を取ったばかりで酒屋のアルバイトをしていた。助手席に乗って、酒やビールの配達である。

土、日の仕事だったので、朝は飲み屋街を回りビール瓶や生ビール樽の回収、ヘルスセンターからは一升瓶の回収と、とても忙しかった。

バーやクラブから回収するビール瓶は、空はほとんどなく半分ひどいのは一杯注いだだけで下げってしまったものが多かった。

ヘルスセンターは、車から酒の置く場所までが遠く、運び終えたときは肩も腰もへなへなだった。

給料日にあの店に行き、念願のアノラックを手にした。店主が、君の熱意にほだされたといって大分値引いてくれた。私も、十年以上愛着をもってチャックが壊れるまで大切に着ていた。

☆ あとがき ☆



山一面に燃え上がるような鮮やかな緑の波と山桜の薄桃色の波が、ゆっくり風に揺られている。山桜の花びらが、春のなごりを惜しむように一枚一枚風の中を舞いながらわたしの目の前を通りすぎてゆく。

去年も来たが、今年もまたいつもの風景に心がいやされる。

“大滝旅館” (福島県広野町)にて TEL. 0240-27-4111